

アジア共同学位開発プロジェクト

小川 佳万

アジア共同学位開発プロジェクト・ディレクター

本プロジェクトは、平成 23 年度～平成 27 年度の 5 年間、概算要求特別経費「東アジアにおける国際的教育指導者共同学位プログラムの開発研究」（事業名「アジア共同学位開発プロジェクト」）として実施している。

平成 23 年度、平成 24 年度の成果をもとに、平成 25 年度は具体的な教育プログラムの創出を目標に、関係者一丸となり、プロジェクトに取り組んできた。本稿では (1) 実施体制、(2) 海外出張・国内出張、(3) 外国人研究員（客員教員）、(4) 国際シンポジウム、(5) パイロットプログラム、(6) 共同カリキュラム開発について振り返る。

(1) 実施体制

前年度の実施体制を引き継ぎつつ、新たな教育プログラムの創出のために、授業担当者を含めた「カリキュラム委員会」を新たに設置した。教職員と事務局からなる推進会議を月 1 回開催しプロジェクト全体の方向性や重要懸案事項の検討を行なった。カリキュラム委員会は週 1 回開催し、新たな教育プログラムの在り方をはじめさまざまな案件を処理した。

事務局では、教育研究支援者 1 名を新たに採用し、専任教員 2 名、研究支援者 2 名、事務職員 1 名の専任スタッフ体制に拡充した。

(2) 海外出張・国内出張

今年度は海外の連携大学と共同教育プログラムの開発のための交渉と国内外の関連事例調査を行なった。交渉を含む海外調査は 4 回、国内調査 3 回を通じて、各国の大学との交流・連携を図ることができ、また、各大学の国際戦略や共同学位の実施状況などさまざまな情報を収集することができた。

(3) 外国人研究員（客員教員）

中国から 1 名の外国人研究員（客員教員）を招聘した。本プロジェクトへの助言を含めた意見交換ができた。客員教員には、サマーコース（後述）へ協力いただき、充実した授業科目とすることができた。

(4) 国際シンポジウム・国際セミナー

「国際シンポジウム」は、本年度、1 回開催した。

1月、『グローバル人材育成とシティズンシップ教育ーアジア共通の教育の基盤とは何かー』（日英同時通訳）をテーマとして、本郷一夫教育学研究科長の基調講演の後、3人の講演者がそれぞれの視点からグローバル人材とシティズンシップ教育について報告し、フロアの参加者と活発な議論が交わされた。

客員教員あるいは招聘した研究者による「国際セミナー」については、本年度、1回開催した。

(5) パイロットプログラム（集中セミナー、サマーコース、ウィンターコース）

平成25年7月、「現代日本の青年像」をテーマとしたコースを短期集中で受講する“集中セミナーin 仙台”を開催した。韓国2名、中国7名、台湾1名、本研究科の学生8名が参加した。学生たちは3日間にわたり本研究科教員の講義を受け、最終日に成果報告会を開催した。

平成25年8月、大学院の授業科目『アジアの子ども』『アジアの学校』（各2単位）を“サマーコース”として開講した。

本研究科の教員のほか、中国、韓国、台湾から教員を講師として招き、英語による授業科目を提供した。中国、台湾から8名の大学院学生を招いて、受講しての意見・感想を求め、共同学位プログラム開発への参考とした。本研究科からの履修登録学生が少なかったことが今後の課題として残った。

平成26年2月、『アジアの子ども』『アジアの学校』をテーマとしたコースを日本語で受講する“2014年ウィンターコース”を開催した。韓国2名、中国6名、台湾4名の計12名が参加し、本研究科の学生も交流した。これまで夏期の受入れ行事を開催してきたが、冬期の受入れ行事を開催できたことは大きな成果であった。

(6) 共同カリキュラム開発

平成25年4月、本研究科と高麗大学と共同学位カリキュラムに関する協議する東北大-高麗大合同カリキュラム委員会を発足させ、会議を行なった（2回）。共同教育科目、単位互換等について検討し、カリキュラムの創設に向けての課題が明確となった。その後、その他の連携大学を加え、共同カリキュラムの検討を重ね、連携大学5校で運営する Asia Education Leader Course（通称 AEL Course）を立ち上げる事となった。

平成26年1月、南京師範大学、国立政治大学、台湾師範大学、高麗大学の連携大学の代表が参加する AELC 合同検討委員会を発足させ、AELC 合同検討委員会を開催した。

4年目の平成26年度には Asia Education Leader Course の具体的運営を通して、共同学位開発に必要なノウハウの精査を行ない、乗り越えるべき課題点の洗い出しとプログラムがもたらす学習成果の評価道具の開発を行なっていく。

平成 25 年度 主な活動状況

月	内 容
4 月	東北大-高麗大合同カリキュラム委員会第 1 回連絡協議会（於：高麗大学） 「集中セミナーin 仙台」受講生の募集開始。 「サマーコース 2013」受講生の募集開始。
5 月	東北大-高麗大合同カリキュラム委員会第 2 回連絡協議会（テレビ会議）
6 月	外部評価委員会開催
7 月	「集中セミナーin 仙台」（『現代日本の青年像』）
8 月	陳陳准教授（中国 南京師範大学）が客員教員として着任（～平成 24 年 8 月 31 日） 「サマーコース 2013」（『アジアの子ども』『アジアの学校』） 国際セミナー「高等教育の国際化⑥」 The Impact of Perceived Parenting on Chinese Adolescents' Achievement Motivation and Academic Achievement／陳陳准教授（中国・南京師範大学）
9 月	
10 月	
11 月	「2014 年 ウィンターコース」受講生の募集開始。 ニューズレター（AJP PRESS vol.4, vol.5）発行。
12 月	
1 月	国際シンポジウム グローバル人材育成とシティズンシップ教育ーアジア共通の教育の基盤とは何かー 基調講演：アジア共同学位開発プロジェクトの目指すもの／本郷一夫教授（東北大学大学院教育学研究科長） 講演 1：アジア諸国におけるグローバル人材育成／小川佳万教授（東北大学大学院教育学研究科・アジア共同学位開発プロジェクト・ディレクター） 講演 2：教員養成とアジアのシティズンシップ／水山光春教授（京都教育大学） 講演 3：Diversity of Asian Region and Citizenship Education／Wing On LEE 教授（National Institute of Education, Singapore） AELC 合同検討委員会開催
2 月	「2014 年 ウィンターコース」（『アジアの子ども』『アジアの学校』）
3 月	年次報告書「アジア共同学位開発プロジェクト 実施報告書 2013 年度」刊行（予定）。 シンポジウム報告集（VI）「グローバル人材育成とシティズンシップ教育ーアジア共通の教育の基盤とは何かー」刊行（予定）。 ニューズレター（AJP PRESS vol.6）発行（予定）。